

既成政党はこの政治的形勢の變動に對應するたりに従来の政綱政策の一部を改竄して、無産階級に迎合せんとしてゐるけれども既成政党が、無産階級の利益を代表し得ないのみならず、毎にそれを経過して、憚らぬことは、従来の長き経験が痛切にそれを教へてゐる。最近の五十議會に於いて、無産階級の政治的権威を強壓するたみに一切の既成勢力は一瞥して、治安維持政策を支持しなげないか。憲法政治の擁護を唱へながら、彼等は、貴族院改革の聲助を及せしめた。進歩的憲政を装へる隠微府すら、無産階級の生死問題なる社会政策、労働立法特に失業防止及び政治労働問題の解決等は一言とも費さず、十億もも出さぬつたては、は等の事實は既成政党の政治的権威の階級的利害の特殊に一本も踏み出し得ぬことを證明するものなり。同時に無(次頁)

無産階級がその生存を擁護するために自ら政治的勢力を組織する、他に道なきことを証明するものである。

近來各地の組織された労働者及び農民とは、いづれも、全国無産階級は、無産階級並に各方面の識者の及に、無産階級政党の樹立を要求する声は鬱鬱然として起つてゐる。本會は之等の新勢力を提携し、殊に労働者及び農民の諸國に協働して、これ等の意見を具體的に促進せしめ、これ政治研究會が各方面の形勢に處するたため、新のあり、必然、進歩である。

斯の如き状況からの展開と政治研究の範疇を更に甚くするたりの複雑化とは、更に政治研究會そのものに、從來より一層有機的能率的活動的な組織形態を以て、これは、規の